

中学校  
3年/技・家

## 情報に関する技術『情報通信ネットワークの利用』

～ 著作権に配慮した調べ学習 ～

実践者 栗原市立金成中学校 高橋 康洋

### 1. 学習の概要

#### 単元名

情報通信ネットワークを利用しよう

#### 単元の目標

インターネットを利用し、調べ学習の課題を解決させる。その際、情報の真偽を見極め、著作権に配慮したレポートが作れるようにする。

#### 本時の学習

##### 学習活動

1. コピー、ペーストの仕方を確認する。
2. 「情報に関する権利を守る」のワークシートを使用し、作者の立場に配慮した部分を丸で囲む。
3. 丸で囲んだ部分を確認し、発表する。
4. 引用の仕方を確認する。
5. 調べ学習の課題をインターネットで調べ、まとめる。
6. 情報の信憑性を確認し、コピー、ペースト、感想等を入力しレポートを作成する。
7. 引用を確認し、付け加える。
8. 作成したレポートを保存する。

##### 指導上の留意点

- webページ上にはコピー、ペーストができないものもあることを確認する。
- 隣同士で確認させ、困んだ理由についても話し合わせる。
- なぜ、引用が必要か考えさせる。
- 正しい引用の仕方を説明する。
- 結果の信ぴょう性を高めるため、複数のwebページを調べさせる。
- (Ctrl+C), (Ctrl+V) の機能を確認する。
- URLによる出所を明示させる。
- 完成したレポートを各自のフォルダに保存させる。

##### 本時活用機器・コンテンツ

- ・ 教師用PC, 生徒用PC
- ・ みやぎの情報モラル総合サイト 指導パッケージ  
「情報に関する権利を守る」  
(<http://midori.edu-c.pref.miyagi.jp/moral/>)

##### 補助資料等

- ・ 学習プリント

### 2. 学習のポイント

#### ・ 生活の中で生きる授業構成

現在、多くの生徒が各家庭でコンピュータを使える環境にあり、アプリケーションソフトウェアやインターネットを利用している。学校でも、社会科や理科、総合的な学習の時間に、インターネットを利用した「調べ学習」が行われている。しかし、webページ上の著作権についてはあまり深く考えずに使用している実態がある。

そこで、インターネットを使って、著作権に配慮した調べ学習の課題を解決することにより、情報を適切に収集する能力の育成、及び著作権などの知的財産権を理解させ、著作権法で認められた正しい手段・方法を理解させたいと考えた。さらに、インターネット上の情報の真偽についても考えさせることにより、思考力、判断力等も高めることができると考える。

#### ・ 実物投影機を使っての資料活用

実物投影機を使って資料やワークシートを提示することにより課題の共有化を図る。このことは、生徒の情報活用実践力の素地を鍛えることにも繋がる。



### 3. 学習のまとめ

#### ・ 中学校における情報モラルの指導

情報モラルの指導は、生徒指導の一つであり、教科では、技術・家庭科、道徳、総合的な学習の時間が関連している。本教材は、「調べ学習」における著作権に視点をあてたものであり、「調べ学習」を行う、様々な教科で使用することが可能である。本時の学習を通して、著作権法で認められた正しい手段・方法を、知識として学習した。この後、学習した知識を基に、道徳や総合的な学習の時間で心情を深め、情報社会に参加する態度を定着させる必要がある。

